

令和元年度 第13回 豊川市市民意識調査

■調査の概要

- 1.調査対象 : 豊川市在住の18歳以上の男女5,000人
- 2.調査方法 : 郵送配布、郵送回収
- 3.調査期間 : 令和元年5月1日(水)～5月15日(水)

- 4.有効回収数 : 2,679件
- 5.回収率 : 53.8%

■調査項目

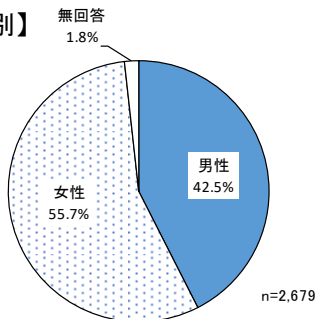
- 1市全体の生活環境
 - 1)豊川市の住みよさ
 - 2)定住意向
- 2豊川市の市政の評価
 - 1)満足度の評価
 - 2)重要度の評価
 - 3)満足度と重要度の評価
- 3安全・安心について
 - 1)交通安全・防犯対策等の行政への期待ス
 - 2)自転車の安全な利用のための心掛け
 - 3)日ごろの地震に備えた対策
 - 4)防災対策の行政への期待
 - 5)衛生環境の行政への期待
 - 6)省エネや環境に負荷をかけないための心掛け

- 4健康・福祉について
 - 1)健康の維持・増進のための心掛け
 - 2)子育て環境の充実のために行政が取り組むべきこと
- 5建設・整備について
 - 1)公共交通機関の利便性の行政への期待
 - 2)道路の整備の行政への期待
 - 3)公園の整備や緑地の保全のために行政が取り組むべきこと
 - 4)河川の整備のために行政が取り組むべきこと
- 6教育・文化について
 - 1)地域づくりに向けた学校と地域とのかかわり
 - 2)生涯学習の活動状況
 - 3)スポーツや運動の頻度
 - 4)文化・芸術の振興のために行政が取り組むべきこと
- 7産業・雇用について
 - 1)観光客増加のために取り組むべきこと

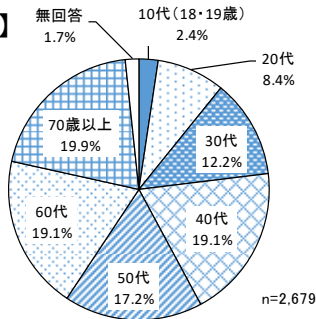
- 8地域・行政について
 - 1)まちづくり活動への参加状況
 - 2)男女共同参画
 - 3)外国人とのつきあい方
 - 4)広報紙等の閲読率
 - ①広報とよかわ
 - ②議会だより
 - ③その他のお知らせ
 - 5)インターネットの利用端末
 - 6)市の職員の対応への評価
 - 7)定住・交流施策

◆回答者の属性

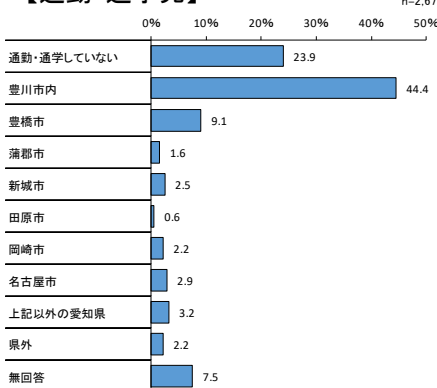
【性別】



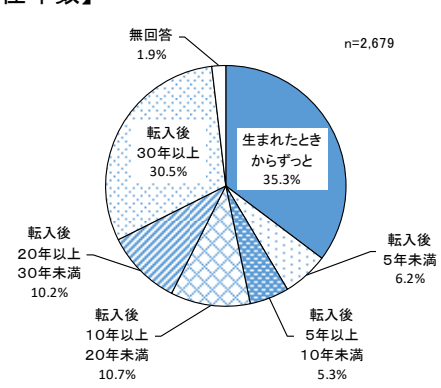
【年齢】



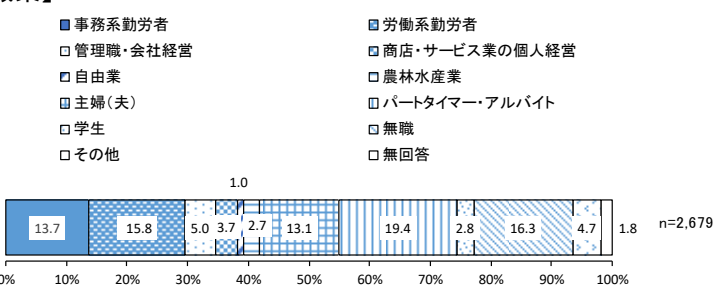
【通勤・通学先】



【居住年数】

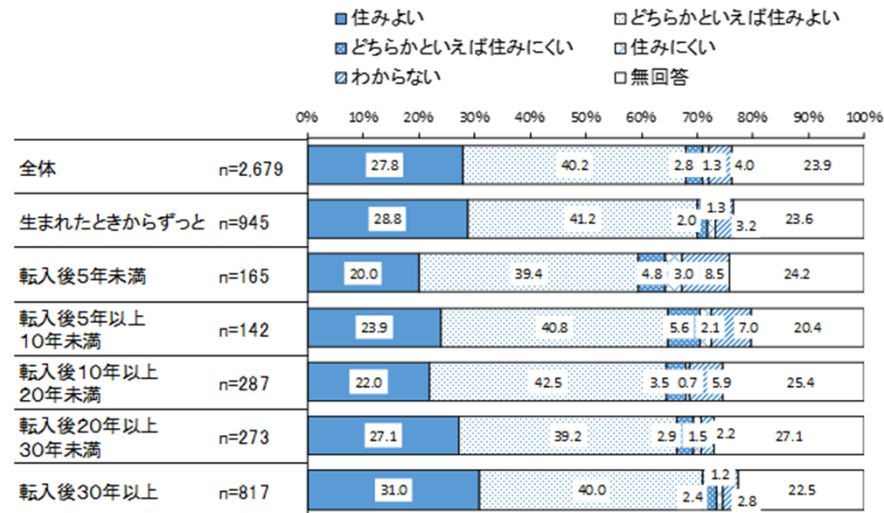


【職業】



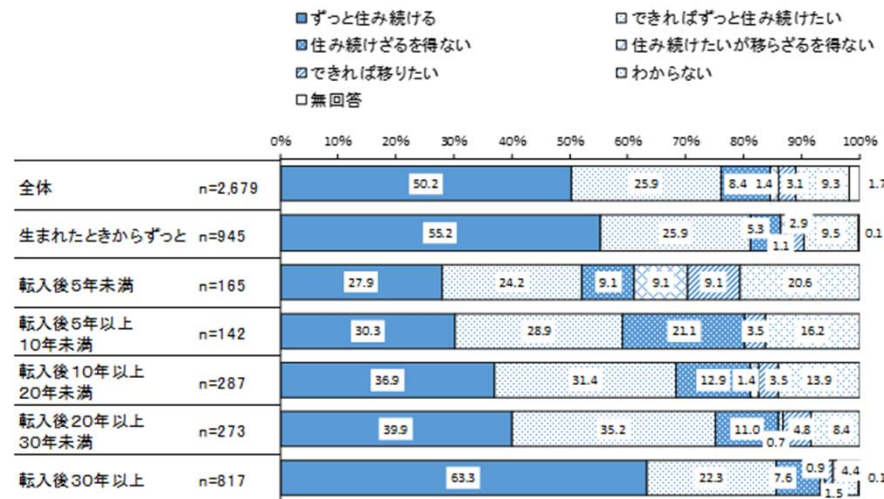
◆豊川市の住みよさ

豊川市の住みよさについては、「どちらかといえば住みよい」(40.2%)の割合が最も高く、次いで「住みよい」(27.8%)となっており、この2つをあわせた“住みよい”は68.0%となっている。一方、「どちらかといえば住みにくい」(2.8%)と「住みにくい」(1.3%)をあわせた“住みにくい”は4.1%となっている。



◆定住意向

定住意向について、「ずっと住み続ける」(50.2%)の割合が最も高く、次いで「できればずっと住み続けたい」(25.9%)、「わからない」(9.3%)の順となっている。



◆市政に対する満足度の評価点

豊川市の市政における現状の満足度について、「安全・安心」「健康・福祉」「建設・整備」「教育・文化」「産業・雇用」「地域・行政」の6分野49項目に対して、[満足]を+2点、[まあ満足]を+1点、[やや不満]を-1点、[不満]を-2点、[わからない]を0点として項目ごとに評価点を算出

